

<p>タイトル</p>	<p>2023 年度 学校推薦型選抜・帰国生選抜：小論文および面接試験</p>
<p>評価の ポイント</p>	<p>(小論文) 特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために小論文試験を実施している。 評価に当たっては、次の三点を特に重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題のテーマをよく理解しているか。 ・ 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。 ・ 記述に当たっての論理的な運びが正しく、論旨が明快であるか。 <p>問題 1 以下の 2 つの視点(『飼い主との向き合い方』と『何を明らかにするか』)を含んだ解答がなされている。 ≪飼い主との向き合い方≫ ポチ(犬)が自分のことばをわかっているという飼い主の主張に対し、飼い主がなぜそのように思うのかを考える(知ろうとする)という構えで飼い主に接することが述べられている。 ≪何を明らかにするか≫ 「ポチが自分のことばをわかっている」という飼い主の主張に対して、飼い主がそのように思っているという意味での事実と捉え、そのことを自分自身が向き合う問題(学問的関心等)の出発点として何を明らかにすべきかを述べている。</p> <p>【解答例】 問題文の著者の学問に対する問題提起に倣った場合、ポチ(犬)が自分のことばをわかっていると主張する飼い主に対し、飼い主や犬を対象に何らかの実験または調査を行うことで「本当に犬に人間の言葉がわかっているのか」という科学的または客観的と言われる結果を事実として飼い主に突きつけるのではなく、飼い主自身がなぜ飼い犬が自分のことばをわかっていると思うのかを考える(知ろうとする)構えで飼い主に向き合うべきだと考える。なぜなら、飼い主がそのように思っていること自体は事実なのだから。 このような主張をする飼い主に対して何を明らかにすべきかを考えた際、「うちのポチは絶対ことばがわかる」と飼い主が言っているという事実を自分が向き合う問題(学問的関心等)の出発点として明らかにすべきことを考えていくことが、とりわけ人や人の心を対象とする学問に触れる者としての在り方だと考える。 具体的には、飼い主の飼い犬にまつわる話に寄り添いながら対話的に飼い主の思いや考えを聞き取る。そして、飼い主とその犬との間にどのような出来事が日常的に生じているのかに着目して、飼い主がどのように犬とかかわっているのかを実際に観察するなどして、飼い主にとって飼い犬がどのよう</p>

な存在であるかといった飼い主自身の内面を明らかにしていくべきだと考える。(551字)

問題2

自己意識と他者評価との違いに葛藤が生じやすい思春期・青年前期にいる中学生に対して、自己を見つめ、等身大の自分を受け入れ、自分なりの物差しを持つことによって「自分を見失う」ことがないようにするための教師の関わりについて、分かりやすく簡潔に記述しているかを評価する。

また、記述に当たっての論理的な運びが正しく、論旨が明快であるかを評価する。

【解答例】

思春期・青年前期という発達段階にいる中学生にとっては、自己意識と他者評価におけるズレに葛藤が生じやすくなると考えられる。自己への適切な理解ができず不安定になりやすい中学生が「自分を見失う」ことがないようにするためには、自己を見つめ、等身大の自分を受け入れ、自分なりの価値観や判断基準が持てるような関わりが必要である。

それは、教師としての価値観や判断基準のみを生徒に押し付けるのではなく、生徒の価値観や判断基準を頭ごなしに否定しないことだと考える。例えば、生徒のやりたいこと、大切にしていること、喜びを感じることを、好き嫌いなどを考える機会を作りたい。また、日々の生活を振り返る「生活ノート」などを活用して、自分と向き合う機会を作りたい。それによって自分の価値観や判断基準を捉える機会としたい。その上で、等身大の自分の受け入れとして、得意と不得意の理解を促す機会を作りたい。

しかし、不得意については、「あなたは〇〇が苦手だから頑張りなさい」と単に確認や励ましをしても、受け入れることは難しい。生徒自身に不得意へ対処ができたという経験が必要である。そのためにも、教師は日頃から生徒の実態を捉えて、生徒の不得意へのさりげない関わりによって、「できた」「わかった」と達成感を感じさせることが必要である。そして、その経験や達成感から「苦手だけど、何とかなる」という思いによって、等身大の自分の受け入れを促したい。(600文字)

(面接)

将来、教員になるにあたっての資質を現段階において備えているかを判断するために面接試験を実施している。面接者の質問に適切に対応できているか、特別支援教育専攻に対する志望動機が明確か、基本的なコミュニケーションスキルや協調性を備えているか等から評価している。